

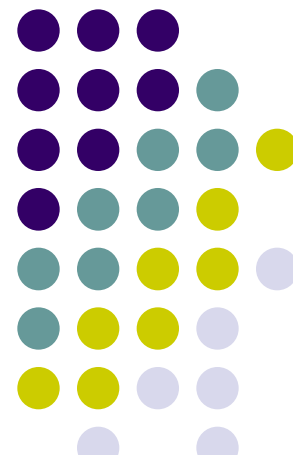
就労前説明会

就労後の日本語学習支援について

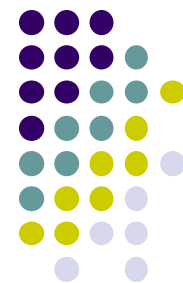


グループ四次元ポケット

福井武司



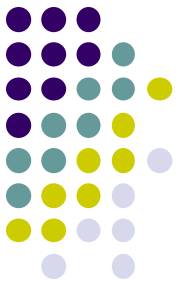
グループ四次元ポケットの紹介



- 日本語教師のグループ／AOTS 海外産業人材育成協会で日本語を教える
- 2008年インドネシア第1陣の日本語研修を担当した教師の有志が就労後の候補者を支援するために、2009年にグループを結成
- 『看護師国家試験準備練習問題』の開発を行い、国際厚生事業団を通じて受け入れ施設に配布
- 就労後の巡回訪問において日本語指導の専門家として同行個別学習指導において受け入れ施設を訪問
- 「ドラえもん」の四次元ポケットがグループ名



来日時の日本語レベル



日本語能力試験(JLPT)

N5→N4→**N3**→N2→N1

N3レベル

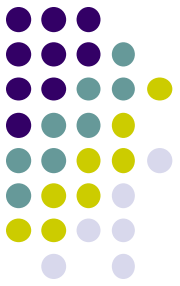
「日常的な場面で使われる日本語を
ある程度理解することができる。」

<http://www.jlpt.jp/index.html>

<http://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html>



来日前日本語研修について



- ・研修期間

2024年1月9日～2024年12月15日

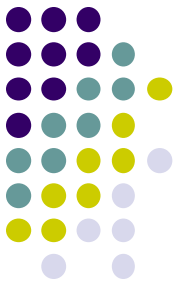
オンライン:1月～10月中旬

対 面:10月中旬～12月15日

→→→来日2025年6月

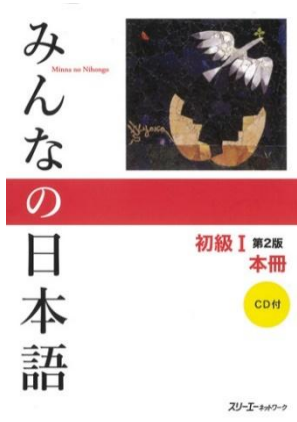


来日前日本語研修について



・使用教材

N4,5レベル



初級Ⅰ 第2版
本冊
CD付

スリーエーネットワーク

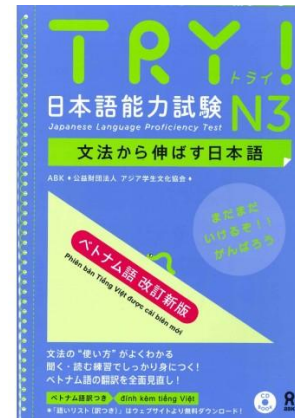


初級Ⅱ 第2版
本冊
CD付

スリーエーネットワーク



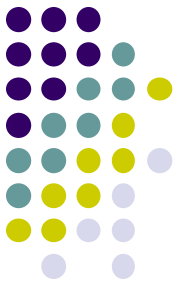
N3レベル



専門レベル

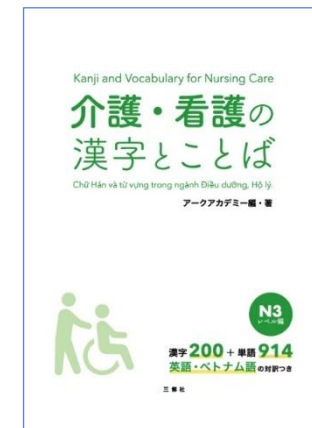
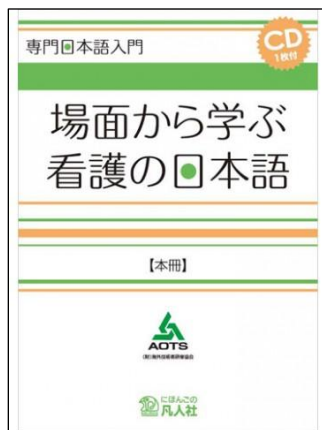


来日後日本語研修について



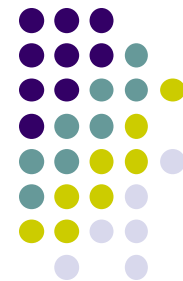
・研修期間

2025年6月5日～2025年7月28日



・就労開始直後の「個別学習指導」や「巡回訪問」で
日本語学習に関して相談する機会がある

ベトナム人看護師候補者の特徴



①発音

個別の音

いっしょに → いっそに

それは → しょれは

つくえ → ちゅくえ

どうぞ よろしく → どうじょ ぞろしく





ベトナム人看護師候補者の特徴

⇒発音の指導

× 最初から候補者に音読させる(よくない例)

1. 日本人がモデルを聞かせる
2. 候補者は見ながらリピートする
3. 一つ一つの音に留意させる
4. 言葉・文を書かせる(ディクテーション・書き取り)

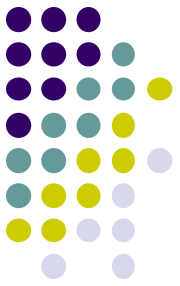
ポイント

⇒指導の時間が長くならないように工夫

⇒病院全体で苦手な音を把握しておく



ベトナム人看護師候補者の特徴



② カタカナ

- ・英語からの借用が少ない
- ・カタカナの言葉を見てもイメージできない
- ・ひらがなの言葉を覚えるのと同じ





ベトナム人看護師候補者の特徴

⇒カタカナの指導

1. 日本人がモデルを聞かせる
2. 候補者は見ながらリピートする
3. 一つ一つの音に留意させる
4. 言葉を書かせる

ポイント

⇒ディクテーション・書き取り

⇒中点をつけて切れ目を示す

例) グレープジュース⇒グレープ・ジュース



訪問時の相談（候補者から）



1) コミュニケーションについて

① 方言が難しい

② 話すスピードが速い

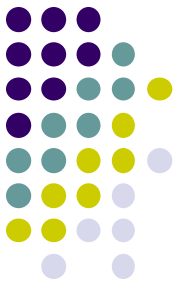
⇒ 候補者が聞き返す時間的な余裕を持つ

③ 言葉そのものがわからない

⇒ 候補者はメモを携帯し、言葉を書く／
あとで、病院の方に確認する



訪問時の相談(候補者から)



2) 学習について

①なかなか言葉が覚えられない

例) 漢字語の勉強方法・研修期間中

旅行先⇒旅行／先

入院先⇒入院／先

ポイント

⇒分解して漢字語彙を習得する

⇒個々の漢字の意味を意識して学習する

⇒知らない言葉があっても意味が類推できる



訪問時の相談（指導者から）



1) 日本語をどう説明したらいいか

① 日本語を日本語で伝える

例1:「和食」

× 日本の伝統的な料理です。

○ すしや、天ぷらや、すきやきです。

ポイント: ○例を出して伝える／×説明する

例2:「日々の生活の中で老化を意識する」

○ 足や腰が弱くなります。耳が聞こえにくくなります。
いろいろなことをすぐに忘れます。



訪問時の相談（指導者から）



1) 日本語をどう説明したらいいか

① 日本語を日本語で伝える

例3:「心細い」

○心配です。寂しいです

ポイント: 言い換える



訪問時の相談（指導者から）

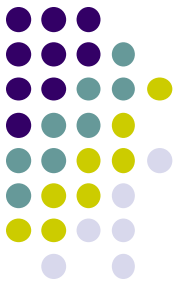


「やさしい日本語」の考え方

- ①話すスピードに気をつける
- ②短い文で話す
- ③主語を省略しない
- ④例を挙げる
- ⑤言い換える



訪問時の相談（指導者から）



2) 確認の仕方

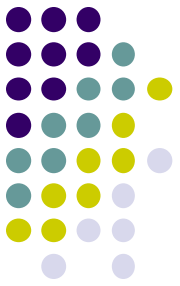
「指示が伝わっているかどうか、
わからないことがある」

看護師：「（患者の）田中さんを4時に
お風呂まで誘導してくれる？」

候補者：「わかりました」



訪問時の相談(指導者から)



2) 確認の仕方

看護師:「わかりましたか」 ×

看護師:「何時にどこへ行きますか」

「誰とお風呂に行きますか」

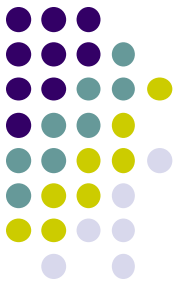
候補者:「4時に田中さんと
お風呂に行く ということですね」

ポイント

「お互いわからないときは、聞き返して確認しようね」
というコンセンサスを作る



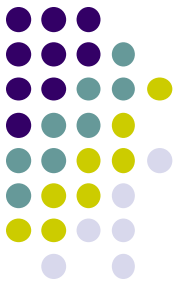
ボランティア教室の活用



候補者のコミュニケーション力を伸ばすために

- ・地域の日本語ボランティア教室へ通う ／
日本語ボランティアに病院へ来てもらう
- ・学習内容はよく相談して決める
- ・どんな様子か把握する





どうもありがとうございました。



グループ四次元ポケット

